

平成26年度 飛鳥資料館 冬期企画展

飛鳥の考古学2014

縄文・弥生・古墳から飛鳥へ

平成27年1月16日(金)～3月1日(日)

月曜休館 2月1日(日)は無料入館日

奈良文化財研究所
飛鳥資料館
奈良県高市郡明日香村飛鳥10-1 電話0744-54-5910

<http://www.nabunken.go.jp/esuka/>



ギョフリ
トーク

開館時間
入館料

交通

主催

後援

1月17日(土) 午前10時30分～、午後2時～
2月15日(日) 午前10時30分～、午後2時～
研究員が展示をわかりやすく解説します。事前申し込み不要

午前9時から午後4時30分(入館は午後4時まで)

一般270円(170円) / 大学生130円(60円)

()内は団体料金 高校生及び18歳未満は無料

近鉄 橿原神宮前駅 飛鳥駅から「かめバス(周遊)」で「飛鳥資料館」下車

近鉄・JR 桜井駅から石舞台台行バスで「飛鳥資料館」下車
奈良文化財研究所飛鳥資料館・奈良県立橿原考古学研究所
明日香村教育委員会

文化庁・近畿日本鉄道株式会社

飛鳥の考古学2014



大官大寺下層 縄文土器 (奈良文化財研究所)



飛鳥京跡下層 弥生土器 (奈良県立橿原考古学研究所)

飛鳥地域の歴史は、しばしば7世紀を中心に取り上げられますが、じつはそれ以前の縄文時代・弥生時代・古墳時代の考古資料も知られています。宮殿や寺院が造られる以前、この地ではまったく異なる暮らしや風景が広がっていました。そこで今回は「縄文・弥生・古墳から飛鳥へ」をテーマにした展示を企画しました。

あわせて、飛鳥地域の2013年度の発掘調査成果を展示します。甘樫丘東麓遺跡、飛鳥京跡苑池、飛鳥寺西方遺跡などで重要な発見が相次いでいます。これらの成果を縄文・弥生・古墳時代の資料とともにご覧いただくことで、異なった視点から飛鳥の歴史に迫れるのではないのでしょうか。

この冬は、飛鳥の新発見とともに、宮殿や寺院の下に眠る、もうひとつの飛鳥の魅力をぜひお楽しみください。



御園アライ遺跡 古墳時代土器 (明日香村教育委員会)

縄文・弥生・古墳から飛鳥へ

平成26年度 飛鳥資料館 冬期企画展

開催期間：平成27年1月16日(金)～3月1日(日) 月曜休館
2月1日(日)は無料入館日

主催：奈良文化財研究所飛鳥資料館
奈良県立橿原考古学研究所
明日香村教育委員会

後援：文化庁・近畿日本鉄道株式会社

ギャラリートーク

1月17日(土) 10時30分～、14時～
2月15日(日) 10時30分～、14時～

研究員が展示をわかりやすく解説します。
事前申し込み不要

開館時間：9時～16時30分（入館は16時まで）

料金：一般270円（170円） 大学生130円（60円）
高校生および18歳未満は無料 ※（ ）は20名以上の団体

バス：近鉄 橿原神宮前駅、飛鳥駅から「かめバス（周遊）」で
「飛鳥資料館」下車
近鉄・JR 桜井駅から石舞台行で「飛鳥資料館」下車
近鉄 大和八木駅から（土・日・祝日）「橿原市コミュニティバス」で
「飛鳥資料館」下車

駐車場：無料 普通車11台分あり（近くに有料駐車場あり）



奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601
Tel：0744-54-3561 FAX：0744-54-3563
<http://www.nabunken.go.jp/asuka>